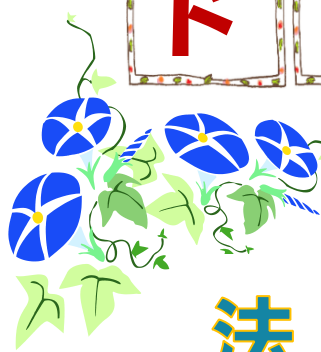


ドリームヴィイ



本部 だより

NO.4

2023年7月31日

法人理念をベースに！

社会福祉法人ドリームヴィイは、「地域社会に開かれた福祉の発信地」として、「障がいのある人も、ない人も、ともに生きていく社会の創造」を理念のもと、様々な取り組みを展開してきました。小島前理事長は、「障がいのある人たちは、社会の中でなくてはならない人たち。障がいのある人の存在は、優しい社会を創り上げていくうえで大切な人たち。」というお話をよくされます。私たちは、日々の支援等で迷いを感じるなど、常に法人の理念を立ち返り、自らの立場を確認するベースにしていくことが大切だと思っております。

「障がいのある人も、ない人も、ともに生きていく社会の創造」において、利用者の皆さんに「やってあげよう」という上から目線の感覚では、「ともに生きていく」ことは実現しません。私たち職員が、利用者の皆さんを、「劣る人」としての価値観をもってしまっていたら、その人と「ともに生きる」ことは、当然ながら果たすことができません。「ともに生きる」ためには、利用者の能力等を見るのではなく、一人一人の人間性に着目し、一人一人の素晴らしい人としての価値を見つめていくことを重要にしています。



事業所内で話し合いをすすめています

法人内における虐待等がないために、各事業所で以下の4点について話し合いをすすめています。

▶ 事業所の理念や施設の支援方針等の目指すべき方向を職員間であらためて確認し、共通認識を深めています。

▶ 利用者に対する言葉遣い等の支援の改善に向けた話し合いをすすめています。

▶ 利用者への社会人として節度ある呼称の仕方について話し合いをしています。

▶ 利用者への対応で気になる場面がある場合には、互いに指摘しあい、改善できる職場風土づくりについて話し合いをすすめています。